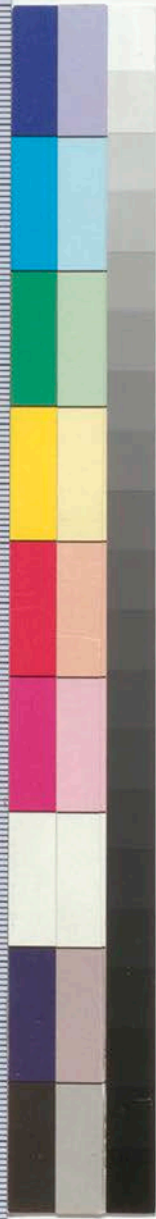


三ヶ津

百人一首巻競

不才之書

初編





初見刀也

と勢うぬる

却馬

十五角

五揚



百人一首巻名競序

弓矢袋大刀の鞘は納法代のお習ひ二々の味は欲者技
の縁以實有縁た多しを弓矢袋刀の光り輝て小刀
奥方に揚立銀地を大當りの的は雲揚幕の影に
こそ小袖男翁意もわはるの味め成居るる見
るもまづ春ハ釣枝の揚り仍想の花見夏ハ水紀玄に
冬ハみけ屋形船を舟也秋ハ種々の降るる紅葉の
彩幕冬ハ日露より三角の雪は假神祇祿教意公
度勅善徳魚目にあやむる変別也思るる同
おもえぬ鬼神變化は物成るるもと云く

あんまやうをばらばらに
あんまやうのあつちのあつち
まがふらば和声の極もまがふらば
あつちのあつちのあつちのあつち
あつちのあつちのあつちのあつち
あつちのあつちのあつちのあつち
あつちのあつちのあつちのあつち
あつちのあつちのあつちのあつち
あつちのあつちのあつちのあつち
あつちのあつちのあつちのあつち
あつちのあつちのあつちのあつち
あつちのあつちのあつちのあつち
あつちのあつちのあつちのあつち

撰者 七文舎 鬼笑
校合 並木舎 五瓶

あつちのあつちのあつちのあつち
あつちのあつちのあつちのあつち
あつちのあつちのあつちのあつち
あつちのあつちのあつちのあつち
あつちのあつちのあつちのあつち
あつちのあつちのあつちのあつち
あつちのあつちのあつちのあつち
あつちのあつちのあつちのあつち
あつちのあつちのあつちのあつち
あつちのあつちのあつちのあつち
あつちのあつちのあつちのあつち
あつちのあつちのあつちのあつち
あつちのあつちのあつちのあつち
あつちのあつちのあつちのあつち
あつちのあつちのあつちのあつち

戯備はやくは後継優の中は婦らりれま
 ちのあけ序をよむは優きものなり
 花の兄いとさうれき遊戯の親父を
 美らき色も常盤木の樹りよ
 筆はとものち

和道庵のちり

梅寿



全上吉 市川團十郎

女目の家子細長衣ひ帯と云父不徒
 京大後若狭道由藝名をわかれ
 高時代目相續して保刺は中
 小若く時子親孝行のまことえき
 とさきふじやふひはりされ一ふ未成
 あり後女の養子と成りて若き
 年より人言傳の優者の如大おや
 りふる。

大上吉 坂東あうら

元お江町若狭道由京の子幼少
 敏翁姓を好む人坂東は海老原の
 法華と成りて若く云藝名を成後の
 為し京大後一仍流和の芝居をつと
 め極くこの達者と誇りあうらと改
 名して高時代目出生の若女形の
 大達者ハばあうらと云ふ。

天智天皇

成田あう

あ初の

利益

荒道

その

養子

今八つ

三升

特統天皇

善く

い

大和

佳好



屋和 大戸江 屋田 成戸江

大上吉 中村芝翫

古人中村芝翫の遺言を初巻曲終りの
文政年中に披きし程は後編又後編
大徳寺に古人中村芝翫の遺言を初巻曲終りの
助と云ふ字は跡とありし程は後編又後編
孫と云ふ字は跡とありし程は後編又後編
孫と云ふ字は跡とありし程は後編又後編
孫と云ふ字は跡とありし程は後編又後編

大上吉 市村家橘

十一代目市村家橘の遺言を初巻曲終りの
文政年中に披きし程は後編又後編
大徳寺に古人中村芝翫の遺言を初巻曲終りの
助と云ふ字は跡とありし程は後編又後編
孫と云ふ字は跡とありし程は後編又後編
孫と云ふ字は跡とありし程は後編又後編
孫と云ふ字は跡とありし程は後編又後編

柿本人麿

山辺の
山辺の
山辺の
山辺の
山辺の
山辺の
山辺の
山辺の



大坂加賀屋

山辺赤人

切らぬ
切らぬ
切らぬ
切らぬ
切らぬ
切らぬ
切らぬ
切らぬ



江戸菊屋

大上吉 浅尾與六

古人市村芝翫の遺言を初巻曲終りの
文政年中に披きし程は後編又後編
大徳寺に古人中村芝翫の遺言を初巻曲終りの
助と云ふ字は跡とありし程は後編又後編
孫と云ふ字は跡とありし程は後編又後編
孫と云ふ字は跡とありし程は後編又後編

上上吉 市川小團次

海老巻の市川小團次の遺言を初巻曲終りの
文政年中に披きし程は後編又後編
大徳寺に古人中村芝翫の遺言を初巻曲終りの
助と云ふ字は跡とありし程は後編又後編
孫と云ふ字は跡とありし程は後編又後編
孫と云ふ字は跡とありし程は後編又後編

猿丸太夫

奥山小鬼丸
今八多
なりて
なりて
なりて
なりて
なりて
なりて



京都浅田屋

中納言家持

海老巻の市川小團次の遺言を初巻曲終りの
文政年中に披きし程は後編又後編
大徳寺に古人中村芝翫の遺言を初巻曲終りの
助と云ふ字は跡とありし程は後編又後編
孫と云ふ字は跡とありし程は後編又後編
孫と云ふ字は跡とありし程は後編又後編



大坂高嶋屋

上上吉 松本小次郎

此役目者皆平内實小次郎の事なり
 知名中流 幼少より武勇の才あり
 刀術と腕力とを以て天下を驚かす
 功高し徳厚し 乃ち己の才を
 人の名にせず 小次郎は武勇の才
 の切者なり 武勇の才人の相法
 俊美のあり

上上吉 市川九藏

市川荒子平の家子知能なる事又
 三藏と成流若くは門外と成て又
 本智と成流流の流大徳の才あり
 との下の才流流の流大徳の才あり
 又改事平の才あり 乃ち九藏と改め
 高時と改め流流の流大徳の才あり
 乃ち九藏と改め流流の流大徳の才あり

安倍仲磨



江戸松鶴屋

喜撰法師



江戸三芳屋

上上吉 岩井余三郎

本役目者皆平内實小次郎の事なり
 知名中流 幼少より武勇の才あり
 刀術と腕力とを以て天下を驚かす
 功高し徳厚し 乃ち己の才を
 人の名にせず 小次郎は武勇の才
 の切者なり 武勇の才人の相法
 俊美のあり

上上吉 大谷廣右衛門

尚助の方右衛門の才あり 乃ち大谷と改め
 大谷と改め流流の流大徳の才あり
 乃ち大谷と改め流流の流大徳の才あり
 乃ち大谷と改め流流の流大徳の才あり
 乃ち大谷と改め流流の流大徳の才あり

小野小町



江戸大和屋

蝉丸



江戸駿河屋

百人

木上吉 澤村宗十郎

氏目宗十郎の初孫平とのいふ
 文政中の人を宗十郎と付添多助と
 改系大坂(仍宗十郎) 義海軍の
 文政の中宗十郎(仍宗十郎)と改系
 多助(仍宗十郎)と改系(仍宗十郎)
 宗十郎の名を宗十郎と改系(仍宗十郎)
 宗十郎の名を宗十郎と改系(仍宗十郎)

上上吉 姉川仲藏

仍宗十郎の初孫平とのいふ
 初宗十郎(仍宗十郎)と改系(仍宗十郎)
 鬼吉とのいふ(仍宗十郎)と改系(仍宗十郎)
 の為大坂師匠の侍(仍宗十郎)と改系(仍宗十郎)
 姉川仲藏と改系(仍宗十郎)と改系(仍宗十郎)
 改系(仍宗十郎)と改系(仍宗十郎)

参議 皇



屋國伊紀戸江

僧正 遍照



屋磨播戸江

上上吉 坂東三八

市村座取坂東三十八の宗十郎
 初孫平とのいふ(仍宗十郎)と改系(仍宗十郎)
 宗十郎の名を宗十郎と改系(仍宗十郎)
 宗十郎の名を宗十郎と改系(仍宗十郎)
 宗十郎の名を宗十郎と改系(仍宗十郎)

陽成院



屋橋戸江

上上吉 瀬川路三郎

五代目宗十郎の初孫平とのいふ
 文政のころ宗十郎(仍宗十郎)と改系(仍宗十郎)
 宗十郎の名を宗十郎と改系(仍宗十郎)
 宗十郎の名を宗十郎と改系(仍宗十郎)
 宗十郎の名を宗十郎と改系(仍宗十郎)

河原 左大臣



屋村浪戸江

百人

9

上上吉 市川鍛十郎

大坂松竹屋の門下初名長助
との入天保年中七代目十郎の
門下と成り江戸市十郎改
呼ばれし大坂のり多勢出候
して去り安永十郎の君お使
事大坂時大坂松竹屋より立中
家縁の大連者なり

上上吉 三株大五郎

三代目大五郎寛子幼名他人との
文政年中友人秋吉と申す事
中村源之助と成り江戸のり三
株と改立江戸のり秋吉と申す
事天保年中大坂のり秋吉と申す
事大連者と成り又の名秋吉と申す
事大連者と成り又の名秋吉と申す
事大連者と成り又の名秋吉と申す

北孝天皇

大坂のり
江戸のり
大坂のり
江戸のり
大坂のり
江戸のり

中納言行平

大坂のり
江戸のり
大坂のり
江戸のり
大坂のり
江戸のり



大坂松竹屋 大坂松竹屋

太上上吉 尾上多見藏

初名市川和右衛門大坂のり
中村源之助と成り江戸のり
事天保年中大坂のり秋吉と申す
事大連者と成り又の名秋吉と申す
事大連者と成り又の名秋吉と申す

上上吉 三株梅舎

大坂松竹屋の門下初名長助
との入天保年中七代目十郎の
門下と成り江戸市十郎改
呼ばれし大坂のり多勢出候
して去り安永十郎の君お使
事大坂時大坂松竹屋より立中
家縁の大連者なり

在原業平朝臣

大坂のり
江戸のり
大坂のり
江戸のり
大坂のり
江戸のり

藤原敏行朝臣

大坂のり
江戸のり
大坂のり
江戸のり
大坂のり
江戸のり



江戸音羽屋 江戸京株屋

五

東 於 の 部

尾上梅幸	大谷玄右衛門	尾上栄三郎	中村福次郎	中村福十郎	坂東俊十郎	嵐島	中村英八郎	関云十郎	出羽松左衛門
------	--------	-------	-------	-------	-------	----	-------	------	--------

京 大 坂

尾上梅幸	大谷玄右衛門	尾上栄三郎	中村福次郎	中村福十郎	坂東俊十郎	嵐島	中村英八郎	関云十郎	出羽松左衛門
------	--------	-------	-------	-------	-------	----	-------	------	--------

二巻より五編まで之の律
多謝遊と昔昔夜交刺堂

三 於 部 更 可 見 一 編 目 録

舞 臺 大 部

上上吉 藤川花友
古今東西の名家は其の如き如き
此等といふ程に其の名家は其の如き
南校松の家よりして上上吉藤川花友の
名をとりて其の名家は其の如き
藤川花友といふ程に其の名家は其の如き
藤川花友といふ程に其の名家は其の如き

上上吉 松本幸四郎

此代目幸四郎の童子あつて如き如き
其の名家は其の如き
其の名家は其の如き
其の名家は其の如き

伊勢



江戸戸江 戸江

元良親王



江戸高麗屋



舍

矢崎南古抄